

令和6年度銚田地域農業学園第4回講座「農薬のまき方」を開催しました

令和6年10月22日（火）、神栖市の鹿島地帯特産指導所において、銚田地域農業学園第4回講座を開催し、若手農業者等13名が参加しました。

今回の講座では（一社）日本植物防疫協会の方を講師としてお招きし、農薬の効果的なまき方について学びました。

孫氏の兵法に出てくる有名な言葉で「彼を知り、己を知れば、殆からず」というものがありますが、この言葉から病虫害防除について考えていきました。

「彼(敵)を知る」:病虫害・雑草の発生生態を把握する。

「己を知る」:防除に必要な資材、適した防除方法を把握する（化学的防除、耕種的防除、物理的防除、生物的防除）。

「百戦殆からず」:効果的な防除を実践できる。

そのため、防除対象である病虫害の特徴と農薬散布で使用する動噴の圧力と薬量、適切な散布動作を学びました。

参加者からは「農薬の量が多ければ良いというわけではないことが分かった」、「今まで理論的にまき方について教わったことがなく、学べてよかった」といった感想が聞かれました。

普及センターでは、今後も若手農業者の経営発展を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（担い手）



病虫害と農薬散布で使用する動噴の圧力と薬量について勉強中



各圧力の粒子状態について実際に確認



適切な散布動作と悪い散布方法について感水紙を用いて比較しました